



国語：語彙力に課題があり、自分の思いや考えを表現することや、文章を読んだり、話を聞いたりして内容を理解することに課題がある。

《学調国語問題 2 四（冊子 p 11）より》

花山さんは、【集めた情報】をもとに、「すずしく過ごせる衣服の色は何色か」について考えたことを書いています。あなたが花山さんなら、□に入る内容を、どのように書きますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

- 【集めた情報】の中から、本の題名と本文の一部の内容を選んで、ぬき出して書くこと。
- ぬき出した本の題名と本文の一部の内容はかぎかっこ（「」）でくくること。
- ぬき出した内容をもとに、すずしく過ごせる衣服の色について考えたことを書くこと。
- 百四十字以内にまとめて書くこと。

算数：計算の方法や、図形の意味や性質、問題の意図や解き方を整理したり説明したりすることに課題がある。

《学調算数問題 1 (3)（冊子 p 3）より》

1 cm³の立方体が36個あります。36個すべて使って、高さが4 cmの直方体を1つ作りました。その直方体は何cm³ですか。

答えを書きましょう。

答え 36 cm³

【児童質問紙から見える本校児童の特徴（三重県や全国と比較して、概ね10ポイント以上の差があるもの）】

- 学校での勉強や悩みについて、家族で話す機会が多い。
- 自分には「よいところがある」と思っていたり、先生からも「良いところを認めてもらっている」と思っていたりする。
- 自分と違う意見について考えるのは楽しいと感じている。
- 平日の学校外において（県・国の平均と比較して）長い時間勉強している児童が多い一方、スマートフォンにかける時間が長い児童も一定数いる。
- 昼休みや放課後に図書館に行く回数が多い。
- 授業において、発表を工夫したり、課題解決に取り組んだり、自分の考えをまとめたりする活動に積極的に取り組んでいる。
- 総合的な学習等において、自分で課題を立てたり、次の学習や実生活に結び付けたりしている。

南小だより No.5（7月17日発行）でも書かせていただいたように、この夏休み中に、今回お知らせをした「学調」や「みえスタ」の結果等をもとに、1学期の取り組みの分析や検証、2学期以降の授業づくりに関する職員研修を行いました。研修会では、担当している学年に関係なく、今回の結果を「学校としての課題」と捉え、授業づくりに携わる全職員で「授業改善として取り組む内容」をつくりあげました。以下の4点は、年齢によっては実施できないものもありますが、どの学年においてもその要素は授業に入れていくことを確認しました。今後も、子どもたちの確かな学力・豊かな心の育成に向け、引き続き指導に取り組んでまいります。

- 定期的に漢字やローマ字の書き取りをしたり、国語辞典を活用したりして語彙力をつける。
- 毎時間、学習内容や既習事項に関する問題に取り組む。
- 授業の本質を大切にするとともに、授業の中に相手や目的、意図（必要）に応じて対話する・書く（記述・説明・まとめる・表現）場面を設定する。
- 自分の考えやまとめ・ふりかえりを書く際に、キーワードや考えの根拠になることを入れたり、文字数の設定をしたりするなど、条件をつけて書かせる（伝えさせる）。